

平成28年度 フォーレスト事業総括

平成28年度フォーレスト事業を推進にあたって最重要課題は、小規模多機能型居宅介護事業所「和光」の開設と運営スタートでした。

開設担当施設となって一年、法人としては初、東御市内では二つ目の小規模多機能型居宅介護事業所の開設準備として、まさしく人・もの・金についてフォーレスト全体として取り組んできました。また利用者確保、職員採用については関係機関の協力の中で計画通り進められたことは、ちいさがた福祉会の底力を感じるものでもありました。

以下、年度計画に沿って事業報告させていただきます。

1. 小規模多機能型居宅介護事業所「和光」

今年度重点目標として掲げました小規模多機能型居宅介護事業所「和光」が下記のように法人準備委員会及び施設内運営委員会により無事開所することができました。

事業開始 : 平成28年10月1日

平成28年9月25日(内覧会)、10月2日(開所式)

規模・定員 : 登録25名 日中デイサービス15名 ショート6名

職員 : 管理者含め11名

利用契約人数: 25名(平成29年3月請求)

【法人準備委員会】

毎月第2月曜日を基本に理事長・常務理事以下、各施設の主任以上及びケアマネが出席し、開所までのスケジュール・利用者確保に向けて準備を進めました。

—実施日・内容—

4月18日(24名) — 小規模多機能型居宅介護の在り方、開所までのスケジュール確認

5月9日(21名) — 各法人内居宅介護事業所より該当利用者の確認
モデルケースによるケース検討実施

6月13日(22名) — 重要事項説明書・該当利用者の確認

7月11日(20名) — 利用者募集進捗状況の確認

8月22日(19名) — 利用者募集進捗状況及び開所までのスケジュールの確認

【運営委員会】

法人準備委員会に対し、フォーレストによる運営委員会を立ち上げ、新規事業の勉強会(講師派遣:地域ケア総合研究所)、法人準備委員会に向けて当運営委員会で詳細を詰める作業を行いました。

—実施日・内容—

4月21日(12名) — 事業勉強会

5月12日(12名) — 事業勉強会、利用者確保に向けた対策会議



- 5月16日 — 事業勉強会 外部講師：多々良大輔 氏（有限会社わが家）
- 6月 9日 — 事業実地研修報告
- 7月14日 — 利用者契約進捗状況確認
- 8月11日 — 利用者契約進捗状況確認

【その他】

- 和光配属予定職員2名が有限会社わが家（長野県宮田村）にて5月30日～6月4日まで長期の事業実地研修を実施。

2. 利用者確保と地域のニーズ

地域福祉活動として施設を知ってもらい介護保険サービス活用してもらう為に各自治会、隣組単位でのイベント外出を企画

「とうみ・花バスツアー」

- 4月11日 大石地区・グループホーム合同お花見会 参加者：32名
- 6月19日 ラベンダー鑑賞（常田地区住民、フォーレスト利用者） 参加者：21名
- 7月15日 蓮の花見学とバーベキュー（大石地区、GH利用者） 参加者：41名
- 9月26日 上田市立美術館鑑賞・和光利用予定者交流会 参加者：28名
- 11月13日 常田地区地域交流会「いきいきサロン」 参加者：56名
- 12月 2日 和光イルミネーション点灯式 参加者：約40名

3. 人材確保と人材育成

【人材確保】

計画的に新卒者・中途採用者を確保する為、一年を通じて活動できる体制づくりを実施

- 求人プロジェクト委員会設置
 - 求人パンフレット作成
- 就職説明会の参加
 - 参加担当職員を昨年度に引き続き配属することで、計画的に参加することができた。
- 学校訪問
 - 近隣を含める県内の高校をはじめ、専門学校・大学を訪問。
 - 6月10日 坂城高校、上田女子短期大学、長野大学、丸子修学館高校
信州短期大学、佐久平総合高等学校
 - 6月20日 千曲高校、東御清翔高校、救命医療専門学校
 - 学生のための、法人事業所見学会を実施（7月24日、参加者1名）
 - 12月 坂城高校、長野大学、丸子修学館、成田学園、東御清翔高校、千曲高校
佐久信州短期大学

【人材育成】

- － 人事考課の見直しと定着
 - ・ 4月21日 考課者（リーダー以上）研修
- － 介護職員キャリア段位アッセサー（評価者）講習修了者3名
 - ・ 現在、介護職員の介護技術向上のため国が制度化に向けて動いている介護職員キャリア段位制度に対し取り組みをはじめました。

4. プライバシー保護のための環境整備

平成 28 年度補助金、「既存の特別介護老人ホームの工事支援事業」の内示を受けて特養ショート（8床）と従来型個室（10床）を除く42床のプライバシーに配慮した環境整備を計画。しかしながら、9月28日に行われた入札が不調に終わり、工事が冬期にかかる日程や現在の自己資金、今後の資金繰りを考慮した結果、今年度は申請を取下げ、今後の課題とすることとしました。

5. その他の事業

- － 法人監事監査（平成27年度決算） 平成28年5月13日
（平成28年度上半期）平成28年10月18日
- － 消防立入り検査（フォーレスト及びグループホーム） 平成28年5月19日
- － フォーレスト敬老会 平成28年9月11日
- － フォーレスト（特養・ショートステイ）県実地指導 平成29年2月1日
- － 全体職員会議及び研修
 - 平成28年6月24日
職員会議 平成27年度事業総括
 - 平成28年9月23日
「感染症防止対策研修」 講師：藤極 友昭 氏（小諸厚生総合病院 感染管理認定看護師）
 - 平成29年2月17日
「職員メンタルヘルス研修」 講師：武 義和 氏（作曲家・土浦めぐみ教会音楽主事）
 - 平成29年3月17日
全体職員会議「次年度に向けて」
- － 避難訓練等
 - 平成28年7月27日 対象建物：フォーレスト・グループホーム
訓練内容：消火訓練、通報訓練、避難訓練
 - 平成28年12月5日 対象建物：和光
訓練内容：消火訓練、通報訓練、避難訓練
 - 平成28年12月6日 対象建物：フォーレスト・グループホーム
訓練内容：夜間想定訓練（消火訓練、通報訓練、避難訓練）
職員緊急招集訓練（正規職員のみ）



1. 資金収支分析及び事業実施実績報告（総括）

◎ 平成 28 年度を終え、事業活動収入が約 4 億 2,520 万円、前年度比+1,300 万円、約 3%の増収となりました。事業活動収入が増収となった主な要因は、入居・ショートステイが前年度から約 1,000 万円の増収となったことが一番の要因といえます。

入居では、稼働率が下半期から安定し、毎月 95%を上回る稼働を維持することができ、1 日当たりの平均空床数は、3.8 床と過去 4 年間を見ると最も低い数字となっています。ショートステイでは、ほぼ通年利用稼働率が 110%を超え、入所における空床をしっかりと補うことができ、その結果、大幅な増収に繋げることができました。

次に今期最大の事業として、昨年 10 月に開所した小規模多機能型居宅介護事業所和光です。当初予定の夏から秋に開所時期が延期となりましたが、その分、準備期間をもつことで開所時に定員 25 名に対し 20 名でスタートをきることができました。当初は、デイサービス認知症型を廃止し、和光を開所することで収入面での影響も示唆されていましたが、デイサービス事業活動収入の約 1,800 万円の減収に対し、和光は約 2,200 万円の増収となり認知症型廃止の影響を回避することができました。

支出面を見ると、今期は和光が開所し、必然的に人件費・事務費が大幅に増加しています。特に人件費では、和光開所に向け、開所前から準備要員として人員を配置し、通常の定期昇給分と合わせ約 1,360 万円の増加となりました。新規事業開始により人件費の増加となったものの、新規採用を最低限に抑え、認知症型廃止により人員が和光に異動するなど、フォーレスト全体で効果的に人員配置を見直したことで、過剰に増加することを防ぐことができました。

事務費が前年度より約 900 万円増加しているのは、和光に係る事務費増加が約 600 万円、研修費の増加が約 300 万円となっています。研修費が、大幅に増加した要因は、平成 30 年に実施される介護・医療報酬同時改定に向け、情報収集・分析のために外部研修に多くの時間とお金を投資しました。しかし、これらの研修は、同時に助成金も合わせて活用していることから、次年度に一部収入計上される予定です。

今期全体をみると当期資金収支差額は、約 2,400 万円のマイナス決算となっていますが、和光が開所し、半年分の介護報酬の運営にも関わらず、事業活動だけでみると約 370 万円の黒字を示すことができました。今期の当初予算（補正）では、和光開所に伴う支出の増加により、決算額以上の減益を予測していましたが、先述したように全部署が和光開所に向けて、一丸となって取り組んだことで、この一年間大きな成果を残すことができました。フォーレスト建設に伴う借入金が平成 33 年 2 月に完済（年約 1 千万円返済）することから、まずはこの 4 年間、和光の安定運営を目標とし、これまでの事業は今期のように現状を維持できるようにフォーレスト全体で努力していきたいと思えます。